

＼ お口を守るスペシャリスト /

歯科衛生士

活躍の場はたくさん♪

歯科衛生士は
国家資格

将来の復職・
再就職も安心!

就職率は
ほぼ100%!

10倍以上
の求人
就職は有利

夢は叶う!

**高い
合格率**

3年間の勉強で
ほぼ全員が国家試験を合格

歯科衛生士の主な仕事

おいしく食べ、楽しく話し、美しく笑うことができるよう歯とお口の健康支援を行います。

- ・**歯科予防処置** むし歯や歯周病を予防するために、歯石を取り除いたり、フッ化物等の塗布を行います。
- ・**歯科診療補助** 歯科医師の診療をアシストします。
- ・**歯科保健指導** 歯磨き指導や食生活の指導、生活習慣のアドバイスをを行います。



アクセス
してみてください♪

歯科衛生士について紹介動画.....

※携帯電話の機種によっては動画のダウンロードができない場合があります。
※パソコンからご覧頂けます。「全国衛生士教育協議会」のホームページ
からご覧ください。 <http://www.kokuhoken.or.jp/zen-eiky/>

全国歯科衛生士教育協議会
協力 | 日本歯科医師会 / 日本歯科衛生士会

■ 歯科衛生士とは

■ 歯科衛生士の仕事とは

お口の健康づくりと口腔ケアで、笑顔のある健康な生活をサポートする！
歯科衛生士は、生涯にわたって人の役に立つことができる仕事です

■ 歯・口腔の健康は、「自分の歯でおいしく食べる」、「楽しく会話する」など、健康で生き生きとした生活を送るための基本となります。また、近年では、さまざまな調査研究から「歯・口腔の健康と全身の健康の関係」が明らかになり、歯科衛生士の役割に関心が高まっています。歯科衛生士は、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図る（歯科衛生士法第1条）ことを目的として、人々の歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職です。仕事の内容は、次の三つの業務が法律に定められており、それぞれに専門性の高い知識・技術を必要とします。

① 歯科予防処置



■人が歯を失う原因の90%が「むし歯」と「歯周病」です。この二つを歯科の二大疾患といい、国民の多くが罹患しています。つまり、むし歯と歯周病を予防することができれば、自分の歯を一生保つことができるのです。歯・口腔の疾患を予防する処置として、「フッ化物塗布」等の薬物塗布、歯垢（プラーク）や歯石など、口腔内の汚れを専門的に除去する「機械的歯面清掃」など、予防的な医療技術があります。歯科衛生士は、このような歯科予防処置の専門家です。

② 歯科診療の補助



手術室での協働・補助



歯科医師との協働・補助

■歯科診療は、歯科医師を中心とした「チーム医療」として行われています。その中で、歯科衛生士は歯科医師の診療を補助するとともに、歯科医師の指示を受けて歯科治療の一部を担当するなど、歯科医師との協働で患者さんの診療にあたります。

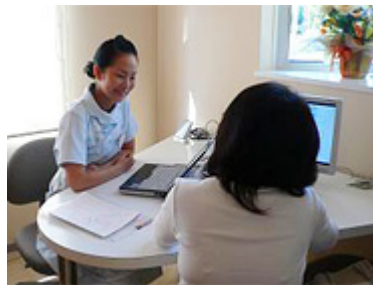
歯科診療補助の範囲は多岐にわたり、歯科診療を円滑に行うために大切な役割を果たしています。また、歯科医師と患者さんとのコミュニケーションに配慮し、信頼関係にもとづく心優しい歯科医療を行うためにも、歯科衛生士の役割が期待されています。

③ 歯科保健指導

■むし歯や歯周病は生活習慣病です。そのため、治療よりも予防、さらに、本人自らが生活習慣を改善することが大切であり、正しい生活習慣やセルフケアを実行するための専門的な支援（指導）が不可欠です。そのため、歯科保健指導は、幼児期から高年期までの各ライフステージにおいて、また、健康な人、病気や障害のある人など、すべての人に必要な支援です。その中で、歯磨き指導を中心とした歯口清掃法の指導は、セルフケアのスキルアップを専門的に支援する大切な仕事です。また、寝たきり者や要介護者等に対する訪問口腔ケアも重視されています。さらに、最近では、食べ物の食べ方や噛み方を通じた食育支援、高齢者や要介護者の咀嚼や飲み込み力を強くする摂食・嚥下機能訓練も新たな歯科保健指導の分野として注目されています。



訪問口腔ケア（居宅）



カウンセリング風景



小学校で歯科保健指導

歯科衛生士は一生の仕事です

■歯科衛生士の活動の場は、歯科診療所や病院が中心ですが、生涯を通じて歯の健康づくりや口腔ケアを支援するため、保育所・幼稚園、学校、保健所・市町村保健センター、企業、そして介護老人保健施設、居宅など、地域にも大きく広がってきました。そのため、歯科衛生士を一生の仕事としてライフワークにする人が増えています。

それには、次のような理由が考えられます。

- ① 国家資格があるので結婚や出産で一時離職しても再就職に有利である
- ② 経験を重ねキャリアアップすることで活動分野が広がる
- ③ 歯科衛生士の求人数が年々増加している

今、人々の健康志向の高まりとともに、歯・口腔の健康づくりを通して、食べる力、生きる力をサポートする歯科衛生士の活動に大きな期待が寄せられています。あなたもチャレンジしてみませんか。

（出典 公益社団法人 日本歯科衛生士会 HP）